

北九州市物流拠点構想 概要版

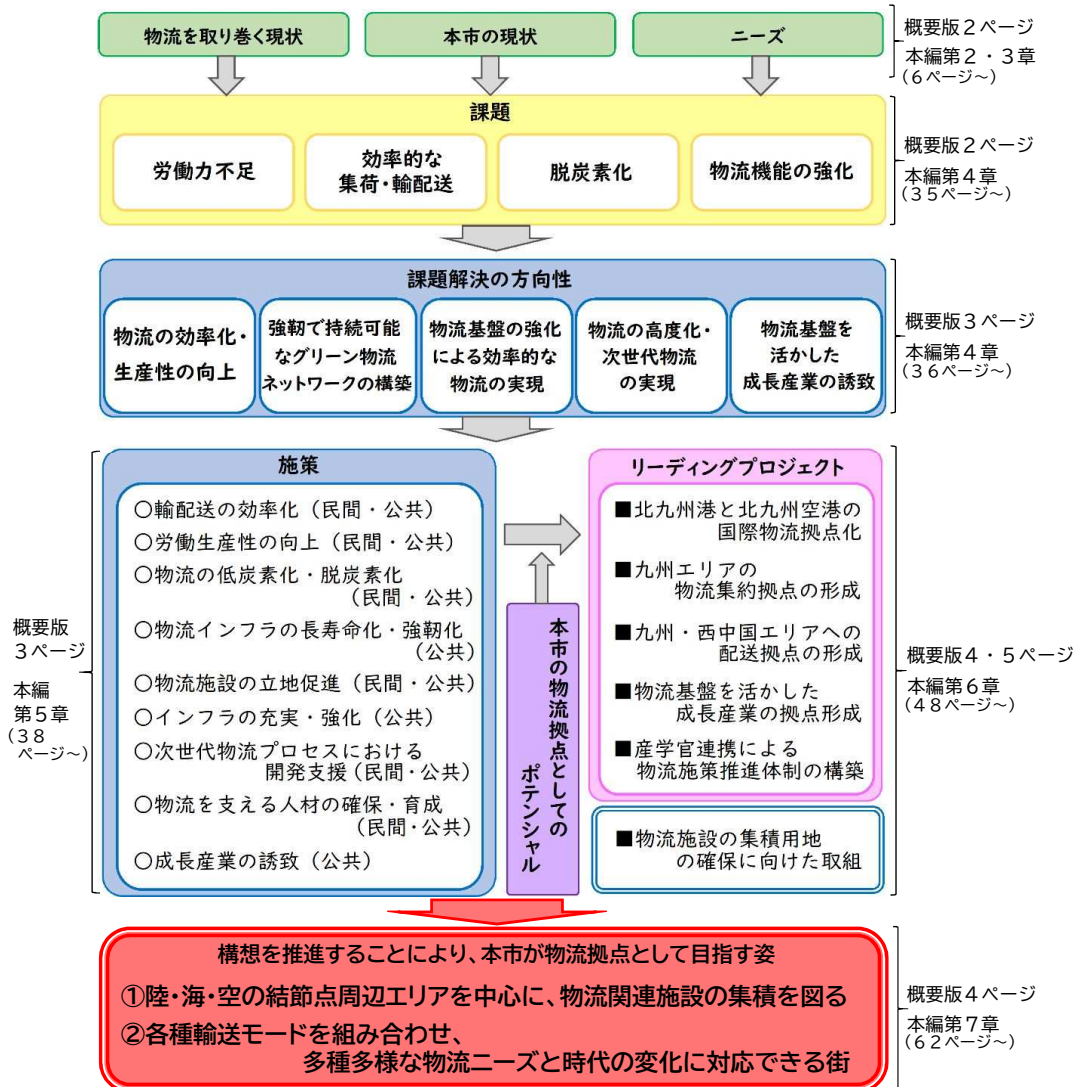
■ 構想策定の経緯

近年、Eコマース市場の急拡大による輸送需要の増加や、ドライバー不足が深刻化するなど物流業界を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。また、脱炭素やSDGsなど、新たな時代の要請に対応する必要も生じています。

この様な変化に対応しつつ、陸海空の充実した交通網など、本市が有する物流拠点としてのポテンシャルを更に活かすために、新たに「北九州市物流拠点構想」を策定します。

■ 構想の構成及び内容

構想の構成は、下図のとおりです。内容につきましては、対応する概要版のページ、本編の章を記載しております。



■ 本市の目指す姿のイメージ図



■ 構想の推進により生じる効果

- 構想に基づき施策やリーディングプロジェクトを推進することにより、本市物流の活性化をはじめとして、物流関連施設等への民間投資を呼び込み、雇用の創出を目指します。構想を推進するにあたり、以下のように目標値を定めます。

● 構想の推進による効果の目標値		
物流関連施設等への民間投資額	[2022～2026年の5年間] 延べ390億円	[2022～2031年の10年間] 延べ1,000億円
物流関連施設等の立地件数	[2022～2026年の5年間] 延べ25件	[2022～2031年の10年間] 延べ60件
雇用の新規創出	[2022～2026年の5年間] 延べ550人	[2022～2031年の10年間] 延べ1,600人

※[2022～2031年の10年間]は参考値

- 構想に盛り込んだ施策とリーディングプロジェクトを推進する当面5年程度の期間について、上記の表のとおり目標値を定めました。また、物流に関する施策の内容が多岐にわたり、その効果が具体的に現れるまでに要する期間も長短があると考えられることから、より長期の10年間についても目標値を設定することとしました。

北九州市物流拠点構想 概要版

